

# 令和8年度 第1回地域家庭教育推進会津ブロック会議

1 開催日 令和8年6月24日(水)13:30~16:10

2 会場 道の駅あいづ 湯川・会津坂下 会議室

3 開催趣旨 地域家庭教育推進会津ブロック会議・・・会津地区で年2回開催

ねらい

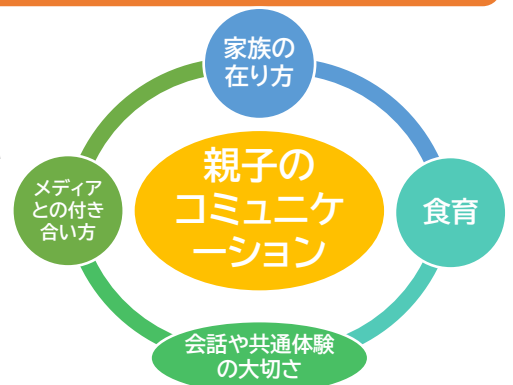
会津地域の家庭教育の現状と課題を把握し、各郡市PTA連合会・学校代表・企業代表・地域代表と協議・連携しながら、課題解決に向けた実践へとつなげる。

協議テーマ

## 親子のコミュニケーションを深めるための方策について

「親子の時間をもっと大切にしてもらいたい」という委員の願いから、テーマを決定。

令和6年度からの2年間で、各分野の代表として参集したブロック委員の皆様からの意見を集め、様々な視点からの協議を進めてきました。(右図参照)



## 広報物「親子のHAPPYコミュニケーション」について

こうして完成したのが、親子の時間を振り返るきっかけづくりのための広報物「親子のHAPPYコミュニケーション」です。昨年度、域内市町村教育委員会を通して各学校や関係団体へ配付しました。

～親子で育てたい6つの宝～ (表)

**1 家族みんなで楽しくごはん**  
楽しく食べると心もからだも元気になるよ！みんな幸せ！！

**2 家族で決めようスマホルール**  
どうするスマホ？どうしたらよりよく使えるか家族みんなで話し合おう！

**3 聞き上手は子育て上手**  
「ねえねえあのね」は会話のチャンス！みんな話を聞いてほしい！

**4 家族をほめようみとめよう**  
子どもも大人もほめられたい！やる気アップの魔法をかけよう！

**5 親子で過ごす時間は宝物**  
同じ時間を過ごすことで、親子の絆が深くなる！子に愛情を注ぐ大チャンス！！

**6 毎日笑顔であいさつをしよう**  
あいさつは、相手の心へ近づくための、大切なコミュニケーション

これは、各郡市PTA連合会、学校代表、企業代表、地域代表が集まる「地域家庭教育推進会津ブロック会議」において作成したものです。会津の家庭教育の充実と、子ども達の笑顔のために有効にご活用ください。  
【会津教育事務所 HP 内総務社会教育課ページ】  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70410a/shakyo-kateikyoku2.html>  
家庭教育に関する情報掲載中！！

広報物（表面）  
親子のコミュニケーションで大切なポイントである6つの視点を「親子で育てたい6つの宝」としました。  
家族一緒にお読みいただき、日頃の生活を振り返ってみてください。

広報物（裏面）  
表面で示した「親子で育てたい6つの宝」について、各家庭の実態に応じたルールを記入できるようになっています。家の目につく場所に貼ったり、達成できたらシールなどで賞賛したりするなど活用できるような工夫があります。

## 4 協議内容

グループ協議では、模造紙に付箋を貼りながら話し合い、たくさんの意見が出されました。その後、各グループの代表者が全体発表を行い、各グループの協議内容が共有されました。

### (1) 広報物「親子の HAPPY コミュニケーション」をさらに活用してもらうための方策

#### 広報物を読んで or 活用してみた感想・活用方法(自分の立場からできる働きかけ)

- ・ 個別懇談等で直接わたす。→顔を見て、目を見て、親さんにはたらきかける。
- ・ サインを付けて「できた! できない!」をチェック。チェックは親子一緒に。
- ・ 実施目的が保護者に伝わらない。→明確にする。
- ・ 家庭環境によって受け止め方が異なる→様々な場に配る。
- ・ 「ルール」ではなく→“あいことば” “スローガン”
- ・ どのように子どもに接してよいか分からない保護者もいるので“親育て”の視点で支援に活用。



### (2) 次年度からのテーマ設定に向けた情報共有

#### それぞれの立場で感じている

#### 会津の家庭教育を取り巻く現状と課題の共有

- ・ メディアとの上手なつきあい方は継続して支援していく必要がある。
- ・ インクルーシブ教育について考えていきたい。
- ・ 学校統合によって範囲が広がった地域は、子育ての連携体制に課題がある。
- ・ 子ども達を取り巻く大人が直接関わり、地域でのコミュニティを広げることが必要なのではないか。



#### ○ まとめ(目黒 健一郎 委員長)

- ・ 子どもが多様化してきている中で、不登校等の課題は、自分の子どもにも孫にも起き得ることである。メディアの発達など、社会も変化してきており、保護者の皆さんに、どんなことを訴えかけていけばよいのか、あるいは、困り感を持っている保護者をどんな形で支援していったらいいのかということが今後の大きな命題である。
- ・ 会津の家庭教育のために、多方面から集まった皆さんと多角的に意見を交わすこの会議の役割は大きい。この会が会津地区の家庭教育の推進につながればと考える。

## 5 本会議の成果と課題について<成果○ 課題●>

- 学校、PTA、企業、行政、支援チームなどの多様な分野の委員が、多角的な視点から家庭教育の現状を共有し、広報物をよりよい物にするための協議を行うことができた。
- グループ協議の中で、委員同士が自己紹介や協議を通じて和やかな雰囲気それぞれの立場を尊重しながら話し合い、家庭教育支援のネットワークが強化された。
- 委員の入れ替わりがあり、年2回という限られた開催回数の中で年度をまたいだ継続性のある協議を維持するために、丁寧な趣旨説明を行う必要がある。そのため、委員からは協議2についての時間が足りなかったとの声があった。
- 学校配布物のデジタル化が進む中で、紙の広報物をいかに確実に保護者の手元に届け、目を通してもらうかが大きな課題である。